



7月の歳時記(文月/july)

★七夕の歴史・由来

七夕は「たなばた」または「しちせき」とも読み、古くから行われている日本のお祭り行事で、一年間の重要な節句をあらわす五節句のひとつにも数えられています。毎年7月7日の夜に、願いごとを書いた色とりどりの短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお祈りをする習慣が今も残ります。みなさんも子供のころ、たくさんの短冊をつるしておりひめとひこぼしにお願いごとをしたのではないのでしょうか？

では七夕はいつから、どのようにして始まったのでしょうか？ 多くの諸説。

- (1) もともと日本の神事であった「棚機(たなばた)」と
- (2) おりひめとひこぼしの伝説と
- (3) 奈良時代に中国から伝来した「乞巧奠(きこうでん)」があわさった。

★ 乞巧奠: 陰暦七月七日の行事。牽牛・織女の二星を祭って、手芸・芸能の上達を祈願する。中国から奈良時代に伝わった宮中行事。

★ こよみ: 半夏生(2)、小暑・七夕(7)、藪入り種(16)、土用(19~)、海の日(17)、大暑(23)、土用丑の日(25)

1 第90回全国労働安全週間(7/1~7) ※7月1日は「国民安全の日」

スローガン

組織で進める安全管理 みんなで取り組む安全活動
未来へつなげよう安全文化

全国安全週間は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。

昭和3年に第1回が実施されて以来、一度も中断することなく続けられ、本年で第90回を迎えます。この機会に職場における労働災害防止活動の大切さを再確認し、積極的に安全活動に取り組みましょう。

活動のポイント

- ①安全パトロールによる職場の総点検
- ②5S、KY、ヒヤリハット活動の充実及び活性化
- ③リスクアセスメントの普及促進(作業方法改善等)
- ④熱中症・食中毒等の予防
- ⑤交通災害防止、転倒災害防止等・・・決め事の遵守



2 夏場の安全衛生

『STOP! 熱中症クールワークキャンペーン』(5月~9月) 展開中

(1)熱中症に注意!(重点活動) 死亡災害に直結! 高齢者・新規雇用者は特に注意。



- ①WBGTの活用(暑さ指数)による作業計画、作業方法等の改善
- ②作業環境・作業員の健康状態を常時把握、異常を素早くキャッチ!
- ③休憩所の快適化(冷房等)、予防対策の徹底(水分・塩分等)



(2)食中毒に注意! 暑く湿気が多い季節は細菌の繁殖が活発!

- ①菌をつけない(清潔): 衛生的環境、清潔な器具・手指、防虫・鼠等
- ②菌を増やさない(冷蔵): 調理後すぐ食す。冷蔵保存(5℃↓)過信しない。
- ③菌をやっつける(加熱・消毒): 食材は十分加熱。調理器具は殺菌消毒する。



(3)感電事故に注意! 汗をかくと体の電気抵抗が少なくなり、感電しやすくなる。

特に水回りの電気機器は接地(アース)を確実に(点検し補修) 家庭の洗濯機も同様です!

(4)梅雨時の体調不良『湿邪』に注意! 体内の水分調節が出来ない(東洋医学)

湿度の高値になれ、発汗機能が低下し発症。⇒倦怠感・頭痛・むくみ・眠気・食欲不振等。

予防: 体を冷やさない事。冷たい飲料や過冷房に注意。適度な運動で汗を流す。半身浴等が有効。



3 事故災害事例

事故災害・重大ヒヤリが多発、危険な状況、連鎖を断ち切ろう!

ヒヤリ事故/受電所基礎杭打ち工事中、埋設高压ケーブル(3.3kV4条)に接触、外装損傷。確認不足・情報共有不足(5/9 15:15)

打撲災害/棚上の商品整理中、奥の商品を移動の為、棚下段に足をかけ身を乗出したところ足を滑らせ胸を強打(♂ 5/22 13:30)

交通事故/帰宅途中、右カーブで路肩に左タイヤが脱輪、操舵不能で右車線路肩にいた3名を跳ねた。(♂ 6/12 18:50)

交通事故/通勤途中、狭い道路で対向車回避、路肩の泥濘にハンドルを取られ電柱に衝突大破。(♂ 6/21 6:00)



ルールなくして安全なし! ルール守って事故はなし!

無理しない 少し休んでリフレッシュ 心と身体(からだ)の健康管理

ご安全に!